

いわて便り

No.8

2017年1月31日発行

1月号

日本生協連
組合員活動部

今冬の岩手は例年より雪が少なく過ごしやすいですが、寒さは厳しく、これから2月が冬本番です。



陸前高田市と大槌町で年末昼食会を開催しました！

昨年12月29日と30日に、陸前高田市と大槌町の仮設住宅や災害公営住宅で年末の昼食会を行ないました。東日本大震災以降、毎年関西の3生協（おおさかパルコープ、よどがわ市民生協、ならコープ）のボランティアと、いわて生協のボランティアで行なってきました。震災から6年目の年末となり、仮設住宅を出られた方も多く、参加者も年々少なくなっていますが、それでも2日間で18会場に270人（ボランティアはのべ103人）が参加されました。みんなで温かなお鍋やおせちを囲んで楽しい昼食会になりました。

参加された方からは「こんなに長く仮設住宅にいるとは思わなかった。自宅再建を決めたけど、土地の造成が遅れており、別の仮設住宅に引越しなければならない。」「夫はずっと漁業で海の暮らしをしてきた。だから海が見えないところへ引っ越したら弱ってしまいそう。今度の家は高台から海が見下ろせるので楽しみにしている。」と新しい生活についてのお話が出される場面もありました。



仮設住宅のみなさんとボランティアと一緒に「いただきます」



おせちは関西3生協より提供いただきました



盛岡発⇒釜石ふれあいサロン「感謝のつどい」交流会

12月6日に、釜石の「ふれあいサロン」にご協力いただいた盛岡地域のボランティアのみなさんに集まっていただき「感謝のつどい」を開催しました。21人が参加し、今までの活動への感謝と現在の釜石の復興状況や、今後のボランティア活動について話をしたあと、一人ひとりの思いを発表し、雑談や笑いが絶えない「感謝のつどい」となりました。これからも自分たちができる支援活動を頑張りすぎずに続けていくことをみんなで確認し合いました。



東日本大震災 復興支援 ふれあいサロン 毎月 55 回開催しています。

今年は雪が少なく過ごしやすい日が続いていますが、大雪など油断ができない季節です。それでもサロンを楽しみにしている方のために、天気予報を気にしながら活動しています。

<盛岡発：大船渡市赤崎大立仮設>

<一関発：陸前高田市サンビレッジ仮設>



支援にいただいた鶴亀飾り作り、難しかったけどみんなで上手に仕上げました。

恒例の体操で、体を動かします！

<大槌町：吉里吉里仮設>



お餅もくるみ餡も
みんなで作ってお茶で乾杯！



<陸前高田市：矢作中仮設>



「なつかしの歌カルタ」「パエリア作り」「プレゼント交換」
をして今年最後のサロン楽しみました！



「岩手県台風 10 号被害緊急支援募金」を贈呈しました（岩手県生協連）

岩手県生協連が、全国の生協に呼びかけた台風 10 号の緊急支援募金に対して、全国からあたたかいご支援や励まし、そしてたくさんの支援募金をお寄せいただきましたことに心から感謝申し上げます。寄せられた募金は、76 の生協・生協連・関係団体などから 4,110 万円となりました。

2017 年 1 月 5 日に第 2 次分として 2,710 万円を達増拓也岩手県知事（左から 2 人目）に贈呈しました。「この募金は全国の生協のつながりがあるの募金です」と話してお渡しし、達増知事からは「合計で生協から 5 千万円近い募金は本当にありがたいです。岩手は地域まんべんなく被災してしまい復興には時間がかかりますが、県としてこれを力に復旧・復興に全力で取り組みます。東日本大震災への継続した支援もありがとうございます。」との謝辞がありました。



全国生協を代表して北海道・東北地連山崎局長が出席（右）

発行

日本生協連 組織推進本部 組合員活動部
電話 03-5778-8124 Fax 03-5778-8125

担当

小池、住吉